

## 静岡県漁業協同組合連合会

1022 静岡市追手町 9-18

14.12.6 ☎ 054-254-6011

編集・発行 = 指導部漁政課

### 1. 平成14年度県漁協組合長会議要望事項、15年度県水産予算編成に対する陳情

県漁協組合長会議実行委員会並びに県水産振興推進協議会では、去る11月28日自民党県連農林水産対策連絡協議会並びに県議会水産議員に対し、また12月4日には県議会議長、県知事、県農業水産部長に対して、過般開催の県漁協組合長会議における平成14年度要望事項並びに15年度県水産予算編成に対する要望事項の陳情を行いました。

県漁協組合長会議の要望事項は、沿岸漁業を守る密漁防止対策の推進について 本県沿岸域における油流出事故対策について 全国におけるシラス鰻の漁獲管理制度の確立とシラス鰻の海外流出防止について の3項目となっています。

また、平成15年度県水産予算編成では、県漁連等水産関係団体が行う指導・委託事業に対する支援について 県信漁連が行う情報系サーバーの導入に伴う補助について (財)静岡県漁業振興基金への県出捐金の増額について 駿河湾深層水利用者協議会への積極的な支援について の4項目となっています。

### 2. 県漁業士認定委員会開催される

去る11月26日、本県漁業の中核者となり得る青年を青年漁業士、更に優良な漁業経営を行い漁業後継者の育成に指導的役割を果たしている者を指導漁業士として認定するための県漁業士認定委員会が開催され、本年度は次の青年漁業士1名、指導漁業士2名が審査の結果承認されました。 青年漁業士：中野健氏(浜名・採貝・カキ養殖) 指導漁業士：山本奉秀氏(湖西・採介藻・刺し網・メッコ網)、大場 守氏(浜名・刺し網・カツオ引網フグ延縄) なお、認定式は明年1月28日センチュリーホテル静岡で執り行われます。

### 3. 水産政策推進全国集会開催される

去る11月29日、東京において全漁連、全国漁港協会、全国沿岸漁場開発協会、大日本水産会の主催による水産政策全国集会が開催されました。

この集会は、本年度水産基本法が制定されたことに伴い、水産物の安定供給と水産業の健全な発展を図り、豊かで活力ある漁村づくり、水産業の構造改革を行いつつ我が国周辺水域における資源回復の推進や都市との共生・交流による地域の活性化、水産基盤の整備等の施策実現のため開催されたものです。

集会では、最初に全漁連植村正治会長の挨拶があり、続いて自民党農林水産部会代表等の挨拶が行われた後、大日本水産会佐野宏哉会長並びに全国漁港協会坂井淳会長が業界を代表して意見表明を行い、全国漁青連山本賢一副会長が決議を朗読し、満場一致で採択されました。その後、参加者は夫々各県毎に分かれ県選出国會議員に対し施策の実現のため

陳情運動を行いました。

### 4. JF全国おさかなまつり開催される

JF全漁連及びJFグループ主催、農水省、農林中央金庫、JF共水連、漁済連の後援により、去る11月22日～24日の3日間千葉県幕張メッセにおいて全国津々浦々のJFをはじめ108の小間に74店舗が出店し開催されました。

まつりは、22日午前9時45分水産庁川口恭一次長、農林中央金庫佐藤英一常務、大日本水産会佐野宏哉会長、韓国水産中央会車錫洪会長、中国漁業者協会魏宝振副会長のほか後援協力団体の代表者、更にJFマリンバンクイメージキャラクターの榊原郁恵さんも多忙の中参加し開会式が始まり、最初に全漁連植村正治会長が挨拶し、続いてプロスキーヤー三浦雄一郎氏より寄せられたメッセージが読み上げられました。

その後、植村会長ほか、後援団体、来賓など出席者一同によるテープカットを行い、全国初の水産物のみを集めた「JF全国さかなまつり」が始まりました。

会場は、出展ブース、ウエルカムコーナー、さかなわくわくゾーン、イベントゾーン、おさかなステージなどの多彩なブース・ゾーンから構成され、ウエルカムコーナーでは漁業の紹介や漁業者、JFグループの活動を来場者に理解してもらおう仕組みとなっていたほか、おさかなわくわくゾーンではアジのつかみ取りや海藻押し花づくりコーナーが設けられ多くの親子が参加していました。

またイベントゾーンでは、1日1回マグロ、ブリ、メカジキの解体ショーとセリが行われ、セリ人の威勢のいい声と格安のさかなに来場者も大満足、更に22日、23日にはJF全国漁青連が直径2.3メートルの大鍋で作った漁師汁を販売し、長蛇の列ができていました。

本県からは、県養鰻協会、県桜えび漁業組合が出店し鰻の蒲焼、肝焼きや桜えびのかき揚げ等を来場者に実演販売し、来場者に好評をばくし本県特産水産物のPRを行いました。この全国おさかなまつりの3日間の来場者は東京、千葉など首都圏を中心に9万人で終日賑わいを見せ幕を閉じました。

### 5. 平成14年度トラフグ延縄漁況について

県水産試験場の発表による14年度のトラフグ延縄漁は、遠州灘では10月3日、駿河湾では10月4日から始まり、10月末までに昨年同期の1.3倍にあたる39.7トンの水揚げしました。

浜名漁協では10月の全県の水揚げ量の8割にあたる31.7トンの水揚げ、好漁となりました。

また、1隻当たりの漁獲量は27.4kgで昨年同期(16.3kg)の1.8倍となりました。

主要市場での漁獲物は、全長組成で35～36cmにモードを持つ1歳魚が主体でしたが、11月は前月に比べ10月に比べ1cm程度大きくなり、体重の増加もあいまって700g未満の小型魚も少なくなっています。

### 6. 諸会議・日程(12月10日(火)～12月24日(火))

12月12日(木) 漁協の共催推進本部 = 推進専門委員会 (県水産会館)

- 既報分省略 -